



谷原小だより

9月号

平成 27 年 9 月 1 日
練馬区立谷原小学校
校長 鈴木 英明

自分の身を自分で守るには 校長 鈴木 英明

学校に子供たちの元気な笑顔が戻ってきました。ここ数年、毎年のように「今年の夏が一番暑い」と言われ、猛暑が続きましたが、45日間の夏休みを終えた子供たちの笑顔に様々な体験を通しての成長を感じました。

現代の子供たちには自我形成や社会性育成のために体験活動が重要であると言われていています。体験の中で試行錯誤し、課題解決を図っていくことで、考える力、判断力、学び方等を身に付けていきます。また、自ら工夫し成し遂げることによる自信や満足感を育てる効果もあります。きっと、子供たちが夏休みの体験の中から感じ取った頑張りや達成感は、子供たちの成長の糧となっており、これから始まる一学期後期の学習・生活に生かせるものと考えています。

ところで、子供の命が失われる事件・事故が後を絶ちません。報道されるたびに子供が巻き込まれないように私たち大人に何ができるのか、何が必要なのかと考えさせられます。しかも、現代社会に潜む危険性は、地域内での安全に留まらず、多種多様になっています。

特に、子供たちへの携帯電話やスマートフォン、ゲーム機等、情報機器の利用が普及し、私たちが子供の頃には巻き込まれる可能性がほとんどなかった問題に子供たちは、対応していかなければなりません。小学生の情報機器の利用については、使用禁止や使用制限をするという「君子危うきに近寄らず」という意見もあります。

しかし、昨年9月には、NPO法人「e-Lunch(イーランチ)」が、全国の幼稚園や保育園に通う1~6歳児の保護者約1100人を対象に調査を実施し、「保護者の3割以上が、子どもを静かにさせる目的でスマートフォンを使用させた経験があり、子供は写真や動画を見たり、ゲームをしたりしていた。また、70%が、静かにさせるために使用した経験がある。」という結果が出ています。情報機器の利活用の低年齢化はより進んでいるようです。そして、この現象の善し悪しはともかく、子供たちの近くに情報機器があり、子供たちは利活用しているということでしょう。

これからの社会においては、子供たち自身が危険を感じる力や、自分の身を自分で守る力を身に付けることの必要性を強く感じています。今月、学校では、3年生が安全マップ作りをし、地域の安全について学習をします。また、17日(木)には、ロジカルキット社の方を招いての情報モラル教室(5年生)、18日(金)には光が丘警察署の方を招いてのセーフティ教室(1,2,3年、及び4,5,6年)を実施し、自分の身を自分で守るため、「どんな危険があるのか。そのときにどうするか。」を学びます。情報モラル教室、セーフティ教室の様子は、公開しております。また、授業終了後は、情報モラル教室、セーフティ教室とも保護者・地域の皆様へ向けて、講師の皆様から危険性や対処法等の講話いただいたり、協議したりする機会を設けています。ぜひ、保護者の皆様のご参加をお待ちしております。子供たちの身を守るために私たち大人に何ができるのかを一緒に考えていきましょう。

最後になりますが、自分の身を守るためには、知恵や知識だけでなく、体力や運動能力、コミュニケーション力、判断力、決断力等も必要であると言われていています。秋という活動に最適な季節を迎える中、学校行事もたくさん予定されています。子供たち一人一人が目標をもち、いろいろなことに挑戦し、心も体も大きく成長できるよう教職員一同、より充実した教育活動となるよう取り組んでまいります。ご理解・ご協力のほど、どうぞよろしくお願い致します。

少人数指導について

現在、1～3年生は学級数+1クラス、4～6年生は学級数+2クラスで少人数指導を行っています。学習内容の定着を図るために単元ごとに習熟の程度に応じてクラスを分け、それぞれのクラスで子供たちの状況に応じた授業を展開しています。特に3年生以上は、学習する単元や内容にもよりますが、『どうやって問題を解くのか』を考え、図や絵を使ったりしながら分かりやすくまとめるとともに、問題を解いていくという活動を中心に行っています。

/ ()	
問題	まとめ
<自分の考え>	練習問題
<友達の考え>	(学習感想)

授業1時間のノートの基本の形(3年生以上)

ノートは、1時間に見開き1ページを基本にし、“誰が、いつ見てもわかりやすいノート”を目指して書くように声をかけています。毎時間1人1人が自分の言葉を使って分かりやすく考えを書こうとしています。子供たちがノートを持ち帰った際には、ぜひノートを見て、声をかけてあげてください。

特別支援コーディネーターより

特別支援というと「特別支援学級」や「ことばやきこえ、情緒学級」への通級と『特別な子のこと』思われがちです。しかし、特別支援教育の基本的な考え方は、前述の子供だけでなく、『すべての児童』を対象としています。

そこで、本校では特別支援教育の取り組みの方針を

『児童一人一人を大切にする。そのためには、全職員が個々の課題や支援の方法を共通理解し、組織的な対応をしていく。また、それぞれの児童のよい点に着目し、できることを認め伸ばしていく』としています。

支援の進め方は、

担任一人に対応するのではなく、まず学年に相談します。

(学年で意見交換する中で児童の課題を共通理解し、支援の方法を考えます)

また、保護者の方と情報交換をして家庭と学校の連携を図ります。

必要に応じて専科や学校生活支援員、心のふれあい相談員に相談します。

さらに学校全体で共通理解を図り、支援の輪をひろげて行きます。

管理職を通して学校外の専門機関の方から指導や助言を受け、より適切な支援ができるように努めます。

支援の内容は「手をかける」「声をかける」「目をかけ、見守る」と千差万別ですが、支援の輪を確実に広げることがコーディネーターの役割です。

お子さんのことで何か気になることが有りましたら、担任・学年の教師・心のふれあい相談員・コーディネーターに気軽に声をかけてください。



夏季水泳指導

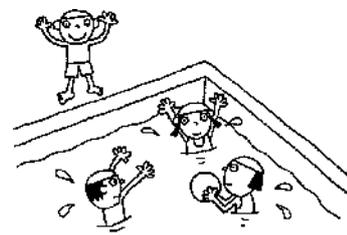
水泳担当 宮北 陽子

今年の夏は暑い日が続き、夏季水泳にも毎日たくさんの子供たちが参加しました。夏休み中の指導は、谷原小の教員と外部指導員の方を含めて行い、安全管理に十分配慮し、また児童の泳力アップを目指しました。

やはり、苦手でも毎日参加することで、低学年児童はだんだんと水に慣れていきます。中学年・高学年の児童も自分の課題、目標に応じて練習に取り組み、上達していきます。頑張った分だけ、努力した分だけ、自分の力となったことと思います。子供たちの成長には本当に驚かされます。



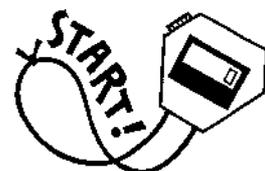
9月に入り、授業の中でどの学年も最後の検定があります。夏休み中に取り組んだ成果を発揮して今年度のまとめとしたいと思います。



連合水泳記録会

毎年6年生が参加します。北原小、光和小、谷原小の3校連合で行われ、一人一人が6年間努力した泳力を確認し、充実感を味わうための記録会です。今年は光和小学校のプールで行われます。全員が「自由形」「平泳ぎ」の25m、50m、100mのいずれかの種目に出場し記録をとります。また、50m×4の学校対抗リレーには代表選手が男女2チームずつ出場します。

今年は、9月3日(木)に行われ、予備日は4日(金)です。低学年の先生方も記録会運営の手伝いに出ますので、時程の変更があります。本日配布の別紙プリントをご確認ください。



9月の予定

日	曜	予定
1	火	1 学期後期始（水曜時程） 給食始 専科授業始 大掃除
2	水	美化日 計測 6 年
3	木	健康の日 計測 1 年 連合水泳記録会（会場：光和小）
4	金	安全指導 計測 5 年・くすのき
5	土	
6	日	
7	月	委員会活動 計測 2 年 岩井事前検診
8	火	岩井移動教室 6 年
9	水	保護者会 123 年
10	木	
11	金	↓
12	土	学校公開 計測 3 年 水泳指導終
13	日	練馬区総合震災訓練 AM
14	月	クラブ活動 計測 4 年 避難訓練
15	火	保護者会 456 年くすのき（武石説明会 5 年） 歯科検診 135 年くすのき
16	水	
17	木	情報モラル教室 5 年 歯科検診 246 年
18	金	セーフティ教室
19	土	
20	日	
21	月	敬老の日
22	火	国民の祝日
23	水	秋分の日
24	木	地域安全マップ探検隊 3 年
25	金	水道キャラバン 4 年
26	土	
27	日	
28	月	クラブ活動
30	火	カリオスタット 5 年
31	水	遠足 3 年

歯みがき指導について

練馬区教育委員会では、昨年度より 2 年に 1 回全ての小中学校で練馬区歯科衛生士による歯みがき巡回指導を実施することになりました。本校では、これまで乳歯から永久歯に生え替わり歯のみがき方が難しくなる 4 年生を対象に、養護教諭が歯垢の染め出し体験を通じた保健指導を実施してきましたが、昨年度初めて「ライオン歯科衛生研究所」の歯科衛生士さんに指導して頂きました。

今年度は 6 月 18 日（木）に練馬区保健相談所の歯科衛生士さん 2 名による歯みがき巡回指導を受けることができました。学校歯科医の浅田先生も 4 年の全クラスの指導に、参加され一緒に「染め出し検査」の判定をしてくださいました。

歯科衛生士さんが準備されたパワーポイント教材は、大変分かりやすく子供たちの興味を喚起する内容でした。また、染め出し体験を含む指導の流れもスムーズで 45 分がとでも短く感じられました。

指導 1 か月後に実施した『歯みがきアンケート』の結果が示す通り、専門家による歯みがき巡回指導は、子供たちにとって貴重な体験であり、行動変容に繋がったと考えます。

【歯みがきアンケート】

歯みがき指導を受けてから、歯みがきをするときにかわったことはありますか？

1. 歯みがきをする回数が増えた 18.9%
2. これまでより長くみがくようになった 58.9%
3. かがみを見てみがくようになった 49.4%
4. よごれが残っていたところを注意してみがくようになった 65.2%
5. かわったところはない 17.8%

（半数はかかり付けの歯科で体験済みの児童）

6. その他（自由記入・・・13 人全て前向きな内容）

《情報モラル教室のお知らせ》17 日 6 時間目に保護者対象の情報モラル教室があります。情報化の進化が著しい昨今、子供達を取り巻く環境も日々激変しています。そのような中、大人もその変化の波に柔軟に対応し、より良い教育環境を子供達に提供するためにも是非多くの方の参加をお待ちしています。